

はじめに

日本ペルー共生協会（AJAPE）は2009年度に、外国につながる子どもたちを対象にプレスクール事業を始めました。子どもたちへの就学前教育、保護者支援を目的とし、プレスクールを異文化理解、多文化共生の場として捉え、指導を考えています。

AJAPEプレスクールは、愛知県『プレスクール実施マニュアル』を基に始めました。教材・教具が全くなく、借りた空間があるだけ、というところからの出発でしたので、『プレスクール実施マニュアル』に大いに助けられました。愛知県プレスクール実施マニュアル検討会議の皆様感謝申し上げます。

AJAPEプレスクールは、2012年度に神奈川県大和市との協働事業「大和プレスクール にほんごひろば」となり、今日に至っています。

「大和プレスクール にほんごひろば」は、11月から3月まで、週3回（水、木、金曜の午後2時～4時）の日程で全50回実施しています。43回をAJAPEが担当し、7回は市の国際化協会の委託を受けた元保育士のボランティア団体が担当しています。

1回2時間で指導案を考えますが、あくまで「案」。その日参加した子ども主体に、しかし安易に流されることのないよう心がけながら、実際の指導を行っています。その日の子どもの様子を見て、休憩を2～4回入れています。

授業は日本語で行っています。

「プレスクール授業案」は2014年度用に作成したものです。毎年見直しを行っており、今回公開するものは「現在でのより良いもの」に過ぎません。プレスクールでの指導を頼まれたけれど、と戸惑っていらっしゃる方々の一助となれば幸いです。

2015年10月

特定非営利活動法人日本ペルー共生協会

高野 菜穂子
高橋 悦子
矢沢 悦子

コースとして先ず6つのトピック、目標を決め、指導を考えました。各回、「最初の活動」を行っています。

	トピック	目標	回数 2時間/回
1	ともだち	プレスクールに慣れる	6回
2	元気な体	絵本や物語に親しむ、手や体を動かす	3回
3	健康な体	衛生習慣を身につける	5回
4	いろいろな家や遊び	多様な文化に触れる	10回
5	ルールや約束	ルールや役割があることを知り、守る	10回
6	もうすぐ小学校	小学校がどんなところか知る	9回

- ・愛知県プレスクール実施マニュアル検討会議(2009)『プレスクール実施マニュアル』
<http://www.pref.aichi.jp/0000028953.html> 2015/10/10 閲覧
- ・矢沢悦子(2013)「大和プレスクール『にほんごひろば』での取り組み」
『言語教育実践 イマ×ココ』創刊号、ココ出版、46-50
- ・矢沢悦子・高橋悦子(2015)「実践報告 大和プレスクール『にほんごひろば』
ー小学校入学前の多様な言語背景を持つ子どもたちへの就学前教育・保護者支援ー」
『異文化間教育』41、16-31

★AJAPE「プレスクール授業案」は、日本語習得を含む就学前教育を非営利目的で行う方に提供しています。ご利用の方はご意見ともどもご一報くださいますようお願いいたします。

連絡先：<http://ajape.org/>

★2016年8月、授業内容の一部見直しを行い、書き直しました。

毎回最初に以下の活動を行う。

	授業内容	準備するもの・入手方法など
入室後	1)「こんにちは」 2)持ち物、衣服を所定の場所へ置く。コートはたたむ。 3)並べてある出席カードの中から自分のを探す。 「今日は○月○日」「赤(青、白…)のシール」→シールを貼る。 4)机の上の名前カードを探し、着席。	出席カード シール(赤、青、白、緑、黄色) 名前カード
子どもがそろうまで	絵本 ジグソーパズル 折り紙	古本、贈呈本など 100円ショップで購入 100円ショップで購入
始まり	T:(時計を指しながら)2時です。 ♪はじまるよ T:(動作で示しながら)立ってください。こんにちは。 C:こんにちは。 T:これから始めます。お願いします。 C:おねがいします。	室内の壁時計
出席確認	T:名前を呼びます。「はい！」(T2名でやってみせる)。 T:○○さん/ちゃん/くん C:はい。	
日付、天気、人数	T:今日は何月何日？ T:(カレンダーの当日を指しながら)○月○日。 →Cに繰り返すよう促す。Tが例を見せる。 T:今日は何曜日？ ○曜日。 →Cに繰り返すよう促す。Tが例を見せる。 T:(外を一緒に見ながら)今日のお天気は？ T:(ボードに絵を描きながら)晴れ/雨/曇り/雪。 →Cに繰り返すよう促す。Tが例を見せる。 T:今日は何人？いち、に、さん…ろくです。 (最初は助数詞を使わない。様子を見て導入)	カレンダー
	★聞き取りに慣れてくる/一人で言えるようになったら「～です」も導入。 また、「子どもは何人？」「大人は何人？」「先生は何人？」「あわせて何人？」も加えていく。	

1. ともだち(6回)					
	ねらい	内容	授業案 [T:指導者、C:子ども]	教材・教具 *「幼児の学習素材館」	絵本
/ ()	1	初めての空間、初めて会う人々に慣れ親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ◆名前の確認、自己紹介 1) Tの紹介 2) C:一人ずつ名前を言う(～ちゃん/くんではなく名前のみ) →Cに自分の名前の呼ばれ方を記憶してもらう 3) TがC1の名前を呼び、C1が「はい」と手をあげる。 4) C:一人ずつ前に出て「(名前)です。どうぞよろしく」 ☆Cの活動の前には、毎回T同士による例を見せてから) ◆歌を歌う 1) 身体部位の導入「(指差して/ここは)何・なん(ですか)」「(部位名)」→練習 2) ♪むすんでひらいて 3) じゃんけんの導入 4) ♪げんこつ山のためきさん ◆折り紙 いぬ、くるくるちょうちよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・折り紙 	
/ ()	2	親子、友だちと一緒に物を作る楽しさを知る	<ul style="list-style-type: none"> ◆首飾り作り 1) ものの名前 ①おりがみ ②色、赤、白、黒、青、黄色、緑、ピンク T: (1枚ずつ見せながら) 赤→C: あか (以下同様) 2) 実物を見せる T: (実物例を見せながら) 首飾りです。折り紙で作ります。 T: できますか。 →C: はい、できます/うん、できる。 T: (机の上に横一列に色紙を長細く切ったものを並べておく) T: 見てください(以下、やって見せながら) 右、1枚取ります。ここにのりをつけます。少し。 丸(丸めながら)。貼ります。 (右から2番目の色紙を)1枚取ります。 (輪の中)ここに入れます。(以下、同じ) 3) 作る T: 皆さん、作ってください。 T: できましたか。 →C: はい、できました/うん、できた。 4) 発表 T: ○○さん、ここ(みんなの前)へ来て。 (例を見せる)○○です。わたし/ぼくが作りました。 C: ○○です。ぼくが作りました。(以下同様) ◆色の名前(復習) ◆歌を歌う ♪ぐーちよきばーで ◆迷路 「かたつむり」「ちょうちよ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・折り紙 (赤、白、黒、青、黄色、緑、ピンク) ・首飾り 	<ul style="list-style-type: none"> 迷路*: 「かたつむり」 「ちょうちよ」

<p>/ ()</p> <p>3</p>	<p>自分の好きなものが何かを伝える、尋ねる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・果物の名前を知る。 ・好きな果物を言う／指さす。 ・折り紙を折ったり開いたりして果物を作る。 ・作品をみんなに見せる、他の人を見る。 ・鉛筆、消しゴムに慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆果物の名前を覚える 1) T: くだもの、知ってる？ (カードを見せながら) りんご。 → C: りんご。(以下、同様) 2) T: (カードを見せて) これは何ですか／これ、何？ / 何が好き？ きらい？ → C: (手をあげ、Tに指名されてから) りんご(です)。 ◆絵本読み聞かせ 果物が出てくる絵本 ◆折り紙 1) 「すいか」(赤)、「バナナ」(黄色)をTが折るのを見て折る。 2) 発表 C: ～です。わたし／ぼくが折りました ◆迷路 1) T: (迷路の絵を指しながら) これは何ですか。 C: いちご／みかん(です) T: これは迷路。→ (鉛筆、消しゴムの名前、迷路の線の引き方を導入) → C: (線でたどっていく) 2) T: 終わった人は色を塗りましょう。 → C: (各自、色塗り) 3) C: 各自発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・果物カード 写真・イラスト+名称 (ひらがな) ・絵本 ・折り紙: 赤、黄色 ・迷路*: いちご、みかん ・鉛筆、消しゴム ・クレヨン・色鉛筆 	
<p>/ ()</p> <p>4</p>	<p>ごっこ遊びを通して社会的経験をさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・果物の名前を言う。 ・好きな果物を言う。 ・友だちと一緒に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆読み聞かせ 『ぼくはあるいた まっすぐまっすぐ』 ◆数字 1) T: (カードを使い) いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、く、じゅう (1年算数での読み方)。言いましょう、いち。 C: いち。(以下同様) 2) T: (カードをランダムに見せる) 何ですか → C: (答える) 3) T: (数字カードを) 1から10まで並べてください。→ C: 1から10まで並べる 取ってください。「2」→ C: 数字を聞いて取る ◆果物 1) T: (果物カードを使用) これ、何? → C: (答える) 2) T: (全カードをボードに貼る) どれが好き? わたしはりんごが好きです。 ○○先生は? (先生の後) → C: いちごです / がすき 3) みんなで折り紙(すいか、バナナ) 4) くだもの屋さんごっこ (用意しておいた他の果物もあわせ机の上に並べる。お店の人、買い物客 に分ける。教師の例の後、子どもは買い物ごっこをする。) 「(果物名) / これ、ください」「いくつ?」「ひとつ / ふたつ / みつつ (いち、に、さんと言ってもよし)」「いくら?」「10円」 ◆数字 1) プリント: 「10までのかず」 (絵と同じ数だけ○に色をぬる) 2) 数字の点つなぎ: 「ちようちよ」「さかな」 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字カード(1~10) ・果物カード ・折り紙 ・紙のお金 ・プリント*: 数点つなぎ 	<p>『ぼくはあるいた まっすぐまっすぐ』 マーガレットワイスブラウ ン 林明子絵 (ペンギン社)</p>

1 ()	5	友だちと楽しく活動する	<ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞く。 ・いろいろな形、色の葉っぱがあるのを知る。 ・好きな葉っぱの絵を描いて、色を塗る。 ・作品をみんなに見せる、他の人を見る。 ・友だちと手をつないで歩く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆読み聞かせ 落ち葉の本／写真集 …いろいろな形、色の葉を見せる T:(これ)知ってる? →C:知ってる/知らない T:(これ/どれが)好き? →C:(答える) ◆お絵描き 1) A4用紙に葉の絵を描く 2) 色塗り 3) 発表 ◆教室から施設入口までを歩く 1) T: 教室を出て、階段の下のところまで行きます。 あそこ(入口)に並んでください。その前にお約束。①走らない、 ②大きい声で話さない、③けんかしない。いい? 2) 入口で並ばせ、隣同士、手をつなぐよう言う。 3) 階段を下り、施設入口・出口まで行き、教室に戻る。 T:(その場所で)かいだん、いりぐち ◆数字 1～10までの数 ◆歌 ♪あたまかたひざぼん (*時間を見て実施するか否かを判断) ◆そり作り 1) T:これから「そり」をつくります。「そり」知ってる? →C:知ってる/知らない 2) そり、人の切り抜きを渡し、絵を描かせる/色塗りをさせる 3) 発表 「わたし/ぼくがつけました」 4) みんなでそりを滑らせて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4用紙 クレパス、色鉛筆 ・数字カード ・数のプリント* 	落ち葉の形、色などが分かる絵本、写真集
/ ()	6	自然にある身近なものに関心をもち、取り入れて遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞く。 ・友だちと手をつないで歩く。 ・気に入った葉っぱを拾う。 ・セロテープを使って貼る。 ・作品をみんなに見せる、他の人を見る。 ・簡単な質問に答える 	<ul style="list-style-type: none"> ◆読み聞かせ 『はっぱのおうち』 ◆落ち葉拾い 1) T:今日は外へ落ち葉を拾いに行きます。 外へ行く準備をする…上着を着る、列に並ぶ、友だちと手をつなぐ、3つの約束を言う 2) 外へ行き、ビニール袋をもらって、落ち葉を拾う 3) 列になり手をつないで教室に戻る ◆貼り絵作成 1) A4用紙にセロテープを使って貼る 2) 作品の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4用紙 セロテープ 鉛筆、消しゴム 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型絵本 『はっぱのおうち』 征矢清作 林明子絵 (福音館書店)

「ちびむすドリル:幼児の学習素材館」

<http://happyilac.net/kisetsu-sozai.html>

2016年8月30日閲覧